読んで聞かせる人へのメッセージ

この絵本は、長期入院して学校を休んでいた小学二年生が学校に戻ってくる話です。

入院中、めいちゃんがどんな気持ちで過ごしていたのかを、周囲の人に理解してもらうための絵本です。

ストーリーの作成意図をご説明します。ぜひ、子どもたちと一緒に読んでいただき、めいちゃんの気持ちを考えていただければ幸いです。

病気は突然にやってきた

P.2〜5

夏休みも過ぎ、二学期が開始するその朝、めいちゃんは突然、発病する。なんだかわからない体の不調を感じる。お母さんの「病院に行かなくちゃ」と言う言葉に一気に不安が押し寄せる。学校の先生や友達に会える楽しみがしぼんでいく。体の不調の中で、残念な、悲しい気持ちになる。

あちこちの病院でみてもらう（確定診断を受けるまでの不安と痛み）

P.6〜7

最初に行った病院では、診断がつかず、あせりと不安が出てくる中、何度も検査を受けなければならない。注射はとても怖いし、痛い。めいちゃんは痛くて泣きそうになる。

確定診断が受け入れられず不安がつのる、母親（家族）の悲しみ

P.8〜9

「白血病（小児がん）」という診断を告げられたけど、めいちゃんはさっぱりわからない。ただ、医師と母親の様子をみて、ただごとではないと感じる。そして「一体、自分に何が起きたの？　教えて！」とお母さんを問い詰めたい気持ちになる。しかし、母親がとても悲しんでいることが理解できるため、問い詰めることができず、本当のところはわからない。ただ、入院という事実だけは理解できる。

入院初日の夜、母親と別れて一人で過ごすさみしさと悲しさ、わけのわからなさによる涙の夜

P.10〜11

母親が帰宅する。病室で一人で過ごすことになった事実を受け入れられない。自信に満ち、元気で過ごしていた自分が、こんなことになってしまった、何か悪いことをしたのかな。罰をうけているような気持ち。わけのわからなさ、悲しみと不安で涙があふれて止まらない。

優しい看護師さんとの出会いと「星を集める」という希望

P.12〜15

さみしくて、悲しいめいちゃんを優しく慰めてくれる看護師。眠るまで気を紛らすように絵本を読んでくれる。やっと入眠。翌朝、看護師が様子を見に来てくれる。そして、長く、つらい治療になるであろう入院生活に希望が持てるように、「星を集める」という目標を目に見える形で提案してくれる。病気になると誰でも心が弱くなる。しかし、希望をもつことができれば、その辛さに耐え、病との闘いをやり抜くことが可能となる。人間にはそんな底力がある。（そんな力が引き出されるように医療者は支援したいと願っている）

入院生活でのつらい治療、でもどれも頑張った

P.16〜19

治療が開始されると、生活上で様々な不都合が生じる。元気な時は考えもしなかった行動が制限され、不自由を強いられること、特に点滴は拘束力が強く、嫌なことの代表である。そして、治療による副作用が出てくる。痛みや吐き気、食欲不振、そして、追い打ちをかけるように脱毛が始まり、ついに全部脱毛。これは男女に関わらず誰もが衝撃と悲しみに打ちひしがれる体験である。人によっては病気や検査等の痛み以上に何よりも脱毛が苦痛であると感じている。（そんな気持ちをわかってほしい）今までの自分のイメージが崩れ去ってしまう、まるで別人、急に自分に自信がなくなってしまい、人に見られたくない、こんな自分を隠したい気持ちが強くなる。人と接触したくなくなる。

でも、これらすべてに対していちゃんは、へこたれずに頑張った。

同じ病気の子と遊んだり勉強したりして、勇気づけられた入院生活

P.20〜25

病院で同病の子どもたちと出会い、遊んだり院内にある学校で一緒に勉強したりして勇気づけられる。星はどんどん増えていった。でも、時々ぼんやり外を眺めていると学校の友達が思いだされ、とてもさみしくなる。

そんなある日、学校の担任の先生がクラスメートからの手紙を持ってお見舞いに来てくれる。学校の先生や友達と「まだ、つながっている」という実感ができて、とてもうれしい気持ち。（入院初期はこのような場面があるが、長期になればなるほど忘れられてしまいやすいため、このような担任の継続的なお見舞い、クラスメートとの関係維持はとても大切である）

ついに退院

P.26〜27

医師の退院許可が出たときのうれしさ。退院を夢見ていたその日、その言葉を聞くと飛び上がりたいほどうれしい。医師からはマスクをすること、体育は無理をしなければ参加しても良いこと、時々外来受診があること、生活は「普通にしていいよ」と告げられる。家に帰って、家族と過ごせる、学校にも行ける、友達と遊べる、いろいろと思いめぐらせて、とても楽しみ。でも、それと同時に、不安がよぎる。脱毛したままで、まだ、新しい髪が十分生えていないから、帽子をかぶらなきゃ、髪の毛のことをからかわれたらどうしよう、嫌だな。どうしよう。外来受診があると早退や遅刻しないといけないな。不安はあとからあとから湧いてくる。教室には私の席、まだ、残っているかな？　みんな待っていてくれるかな？　覚えてくれているかな？　先生は私の病気のこと、クラスメートになんて言っているんだろう？（復学する前の子どもの不安を理解してほしい）

復学――クラスメートが温かく迎えてくれる

P.28〜32

楽しみだけど不安な気持ちを抱え、ドキドキしながら学校に行く。学校が、クラスが見えてきた。私の描いた絵が見えてちょっとうれしい。クラスに入ると担任の先生が「めいちゃんがこのクラスに帰ってきましたよ」って説明してくれた。クラスメートは口々に「めいちゃん、お帰り」と言ってくれ、集まってくれた。不安が一掃された瞬間。（復学する際は、学校側の受け入れ体制の準備が大切である）

めいちゃんは帽子をかぶって、少し容姿は変わったけれど、闘病生活で得たものはとても大きい。闘病を乗り越えた誇りの象徴である星を沢山持っている。

☆　☆　☆

多くの子どもが自信を取りもどし、さらに入院の経験を糧として、より成長した姿で学校に戻ることを願っています。そのためには、がんの子どもの闘病生活の様子を理解し、入院中の学校の教師やクラスメートとのつながりを欠かさないことが大切です。学校の先生方と共に病気の子どもを支えたいと思っています。

大見サキエ／森口清美／がんの子どもの復学支援プロジェクトチーム

読み聞かせ実施ガイド　　2016.12.17

～本の読み聞かせをする先生方へのお願い～

【読む前】

1. 絵本の後ろにはさんである「読んで聞かせる人へのメッセージ」を読んでください。
2. 以下の説明を加えてください。

表紙を見せながらタイトルを読む「おかえりめいちゃん―白血病とたたかった子どもが学校にもどるまで―」

★　これは、病気で入院して、学校を長い間休んだ子どもが、退院して学校にもどってきたお話です。
白血病というのは、血液の中にできる「がん」という病気の一つです。

★　ページをめくって、内表紙を見せて、「主人公はめいちゃんです」と説明を加えてください。

【読んでいる時】

絵本を読む時、「間」に注意する箇所

★　P9 から P10 に進む時、入院の場面に変わるため、余韻を残すように、少し間を入れる。

★　P15 から P16 に進む時、辛い治療の場面に移るため、少し間を入れる。

★　P26 の時、低学年の場合、「3 月のある日」の後、「半年たったんだね」と説明を加える。

★　P31 から P32 に進む時、言葉を発している人が、めいちゃんからクラスメイトになるので、切り替えとして間を取る。

【読んだ後】

1. 子どもたちから以下の質問があったら、絵本に戻りながら、疑問に答えてください。

★　P16　治療ってなに？

「治療というのは、病気を治すために注射をしたり、薬を飲んだりすることです。」と説明を加えてください。

★　P24　骨の検査ってなに？

骨髄検査と呼ばれるものです。骨は、体の中で血を作っている工場です。
工場がちゃんと働いて血が作られているかを調べる検査です。

★　髪はいつ生えてくるの？

P18 絵本の中で看護師が説明しているように、「強いお薬のせいで髪の毛が抜けるけど、治療が終われば、また生えてくる」ことを伝えてください。

★　白血病は治るの？

「ほとんど（80％）治る病気」であることを伝えてください。

★　めいちゃんは、同じように学校に来れるの？

「退院後は少しずつ体を慣らしていきます。みんなと同じように元気に生活できるようになります。」と伝えてください。

★　マスクは何のためにしているの？

P26 でお医者さんが言っているように、「病気をうつすのでなく、自分の体を守るために、風邪をひかないように、マスクをしている」と伝えてください。

裏に続きます　⟶

2. できるだけ、子ども達が感想を自由に述べ合う機会を設けて頂けると幸いです。

★ 「めいちゃんはどんな気持ちなんだろう？」と、めいちゃんの気持ちを子どもたちと一緒に共有しましょう。

★ 子どもたちに「自分がめいちゃんだったらどんな気持ちになると思うか？」と問いかけてみてください。

以下に例を挙げます。

★ めいちゃんの入院が決まった時の気持ちは？

★ はじめて入院した日の気持ちは？

★ 辛い治療や検査を受けていた時の気持ちは？

★ 髪の毛が抜けた時の気持ちは？

★ 学校の友達に会えなかった時の気持ちは？

★ 学校の先生がお見舞いに来てくれた時の気持ちは？

★ 退院後、初めて学校に行く時の気持ちは？

★ 教室に入った時の気持ちは？

★ 学校に戻ってきた時、めいちゃんは、みんなにどんな風に接してもらいたいと思うか？そう考えた理由は？

★ 退院してきためいちゃんに対して、どのような態度で接したいか、そう考えた理由は？

例えば、髪の毛のこと、マスクをしていること

絵本の読み聞かせをしていただいた先生へのお願い

是非、読み聞かせのご感想をお寄せくださいますようお願いします。
ご記入後は、FAX でお送りください。

FAX　058-279-6248

1.　読み聞かせ実施した学年全てに〇をご記入ください

（　１　・　２　・　３　・　４　・　５　・　６　）　年

2.　読み聞かせ実施した時期や場面について

① 入院直後（入院後　　か月）　② 入院中：一時外泊前（入院後　　か月）

③ 入院中：退院前　④ 退院後で復学前　⑤ 子どもの入退院の予定のない時期

3.　読み聞かせをした対象について

① クラスメイトと病気の子ども　② クラスメイトのみ　③ 学年全体

④ 複数学年　⑤ 学校全体

4.　子ども達から絵本の内容について質問はありましたか？

（　あり　・　なし　）

↓

どのような質問内容でしたか？　当てはまるもの全てに〇をご記入ください。

① 治療ってなに？

② 骨の検査ってなに？

③ 髪はいつ生えてくるの？

④ 白血病は治るの？

⑤ めいちゃんは、同じように学校に来れるの？

⑥ マスクは何のためにしているの？

⑦ その他（　　）

5.　返答に困るような質問がありましたら、どのような質問だったかご記入ください。

（　　）

裏に続きます →

6.　自由に感想を述べ合う機会を持ちましたか？

（　はい　・　　いいえ　）

↓

どのような感想が出ましたか？　当てはまるもの全てに〇をご記入ください。

① めいちゃんの入院が決まった時の気持ち

② はじめて入院した日の気持ち

③ 辛い治療や検査を受けていた時の気持ち

④ 髪の毛が抜けた時の気持ち

⑤ 学校の友達に会えなかった時の気持ち

⑥ 学校の先生がお見舞いに来てくれた時の気持ち

⑦ 退院後、初めて学校に行く時の気持ち

⑧ 教室に入った時の気持ち

⑨ 学校に戻ってきた時、めいちゃんは、どんな風に接してもらいたいか。そう考えた理由

⑩ 退院してきためいちゃんに対して、どのような態度で接したいか、そう考えた理由

⑪ その他（　　）

7.　子どもたちの感想の中で、印象に残った話し合いの内容をご記入ください。

8.　この絵本を復学支援の資料として使う場合、補足してほしい内容がありましたらご記入ください。

9.　絵本やアンケートの内容についてご意見ご感想など、自由にご記入ください。

10. その他

この絵本はその他にどのような活用できると思われますか？

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

お答えいただいた内容を、今後の絵本の改訂に役立ててまいります。

尚、アンケート結果の一部は学会等で発表させていただく予定ですので、何卒ご了承ください。